

アロプリノール錠「NS」を お飲みになる患者さんにお伝えください

— 服薬指導ガイド —

◎医師又は薬剤師のみなさまへ

アロプリノール錠「NS」服用後の重大な副作用として、**中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、剥脱性皮膚炎等の重篤な皮膚障害、過敏性血管炎、薬剤性過敏症症候群、ショック、アナフィラキシー、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、劇症肝炎等の重篤な肝機能障害、黄疸、腎不全、腎不全の増悪、間質性腎炎を含む腎障害、間質性肺炎、横紋筋融解症、無菌性髄膜炎**の発現に注意する必要があります。

これらの副作用の初期症状が認められた場合には、アロプリノール錠「NS」の投与を中止し、すぐに医師又は薬剤師へ相談するよう、患者さんへご指導をお願いいたします。

詳細は電子化された添付文書（電子添文）をご参照ください。電子添文の改訂に十分留意してください。



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社

アロプリノール錠「NS」を お飲みになる患者さんへ

このお薬は、高尿酸血症（血液中の尿酸が多くなる状態）や痛風（血液中の尿酸が多くなって起こる病気）の治療に用いられます。

体内で尿酸が作られるのを抑え、血液中の尿酸の量を低下させるお薬です。

お薬をお飲みになる前に…

- 以前に薬を飲んで、発疹などが出たことがある。
- 肝臓の病気がある、あるいは過去にかかったことがある。
- 腎臓の病気がある。

などがあれば、**このお薬をお飲みになる前に**医師又は薬剤師にお伝えください。

飲み始めた後は…

このお薬を飲み始めた後、まれではありますが、**重篤な副作用**があらわれることがあります。裏面に示すような症状があらわれたら、**服用を中止し、すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

次のような症状に気づいたときには、**服用を中止し**、**すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

発熱、発疹、のどの痛み、全身がだるい、食欲がない

また、この他にも、何か変だなと感じた場合には、**すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

副作用の初期症状

アロプリノール錠「NS」を飲み始めた後、まれに見られる**重篤な**副作用の初期症状は以下の通りです。

□皮膚の障害

発熱、発疹、のどの痛み、関節の痛みなどの感冒様症状、皮膚が斑状に赤くなる、眼が充血する、口の中があるなどがあらわれた場合。

□血液の障害

発熱あるいはさむけがする、のどが痛い、全身がだるい、顔やまぶたのうらが白っぽい、出血しやすくなる（歯ぐきの出血、鼻血など）、青あざができる（押ししても色が消えない）、気分が悪くなりくらっとする（貧血の症状）などがあらわれた場合。

□肝臓の障害

食欲がない、全身がひどくだるい、皮膚や白目が黄色くなる、尿の色が濃く（茶色く）なった、体がかゆくなる、発疹が出たなどがあらわれた場合。

□腎臓の障害

尿の量が少なくなった、むくみ、全身がだるいなどがあらわれた場合。

製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号

販売元



第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

Daiichi-Sankyo

EPAL01P00301-1

2023年12月作成

製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号

販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

販売提携



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

EPAL01P00301-1

2023年12月作成